

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-194062

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

G03B 17/56

A45C 11/38

G03C 3/00

(21)Application number : 10-367748

(71)Applicant : HIBINO TOMOHISA

(22)Date of filing : 24.12.1998

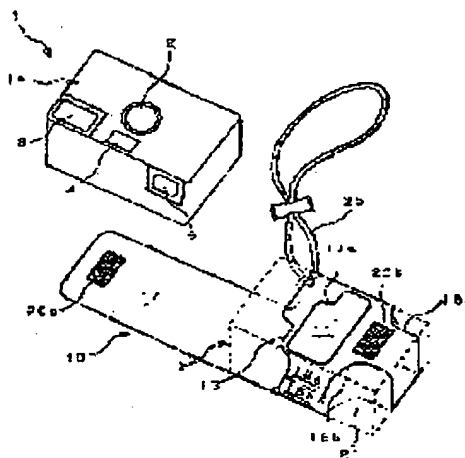
(72)Inventor : HIBINO TOMOHISA

(54) CASE FOR CAMERA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily manufacture the case of a disposable camera.

SOLUTION: By making largish holes pierce through a box like main body 1a in which the camera can be loaded according to the positions of a lens 2, a flash 3, a shutter 5, a lens for a finder 11 and a finder and attaching a strap 25 besides, the main body 1a can be made to cope with many kinds of cameras.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-194062

(P2000-194062A)

(43) 公開日 平成12年7月14日 (2000.7.14)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

キーワード(参考)

G03B 17/56

G03B 17/56

H 2H105

D

A45C 11/38

A45C 11/38

C

G03C 3/00

575

G03C 3/00

575H

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全3頁)

(21) 出願番号

特願平10-367748

(71) 出願人

587159352

日比野 智久

(22) 出願日

平成10年12月24日 (1998.12.24)

(72) 発明者

日比野 智久

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字城之内16-1

(74) 代理人

100095278

弁理士 犬飼 達彦

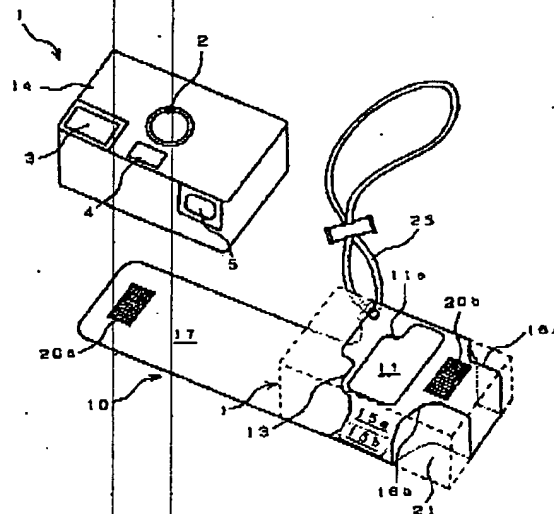
Fターム(参考) 2H105 DD06

(54) 【発明の名称】 カメラのケース

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、使い捨てカメラのケースを簡便に製作することである。

【解決手段】 本発明は、カメラを装着できる箱状の本体1aに、レンズ2、フラッシュ3、シャッター5、ファインダ用レンズ4及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐25を付設することによって、多種類のカメラに対応することができる。



(2)

特開 2000-194062

1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カメラを装着できる箱状の本体に、レンズ、フラッシュ、シャッター、ファインダ用レンズ及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐を付設することを特徴とするカメラのケース。

【請求項 2】 1 枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することを特徴とする請求項 1 のカメラのケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】 本発明は、ケース等に関し、特に、使い捨てカメラのケースに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、使い捨てカメラは、本体だけで販売されていて、使用者はポケットに入れたり、ハンドバッグに入れたりして、持ち運んでいる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 そのため、撮りたいときに、カメラを持ち出すタイミング失して、撮り損なうことが生じた。そこで、本発明は、簡便に且つ多種類の使い捨てカメラを収納できるケースを提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 請求項 1 のカメラのケースは、カメラを装着できる箱状の本体に、レンズ、フラッシュ、シャッター、ファインダ用レンズ及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐を付設することによって、多種類のカメラに対応することができる。又、請求項 2 のカメラのケースは、1 枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することによって、簡便に形成することができる。

【0005】

【発明の実施の形態】 本発明の一実施の形態を図面を参照して説明すると、図 1 は使い捨てカメラとケースの全体図、図 2 はケースの正面図、図 3 はケースの背面図、図 4 はケースの平面図、図 5 はケースの裏面図、図 6 はケースの右側面図、図 7 はケースの左側面図である。又、図 8 はケースを作成する前の展開図である。

【0006】 使い捨てカメラ 1 は、直方形の本体 1 a、レンズ 2、フラッシュ 3、シャッター 5 等で構成されており、本体 1 a の正面中央にはレンズ 2、正面左上部にはフラッシュ 3、中央上部にはファインダ用レンズ 4 が各々配置してある。又、カメラ本体 1 a の平面の右上部には、シャッター 5 が配置してある。

【0007】 次に、前記カメラ本体 1 a を装着できるケース 10 について説明するが、ケースは種々市販されている使い捨てカメラ 1 に対応可能な形状に形成してあり、具体的には大きめの孔や切欠が形成してある。ケー

2

ス 10 は略長方形の合成樹脂シートや布等を使用し、レンズ 2 とファインダ用レンズ 4 に対応する位置で、下部 11 a において幅狭な長方形のレンズ孔 11 を形成し、その両端にはケース 10 の側面になる余白 14 a、15 a が形成してある。

【0008】 又、カメラの底部に対応する箇所（下接合部 12 b）を長く形成する一方、フラッシュ 3 に対応する位置には切欠き部 13 が形成してある。そして、シャッター 5 に対応する位置を考慮して、凹状の上切欠部 16 b が形成してある一方、底部においても、上下ほぼ同じデザインとなるように凹状の下切欠部 16 a が形成してある。又、ファインダ（図示略）に対応して、ファインダ窓 19 が形成してあると共に、その右側は蓋部 17 を形成する。又、前記余白 14 a、15 a に対応して、余白 14 b、15 b が形成してあり、ケース 10 の側面を形成する。尚、前記各部所を切断等するためには、金型で打ち抜いて形成する。

【0009】 そして、前記ケース 10 における、前記余白 14 a の上接合部 12 a と余白 14 b の下接合部を 12 b、及び、余白 15 a の上接合部 18 a と余白 15 b の下接合部を 18 b を折り曲げた後に合わせて熱融着するとケース 10 が完成し、カメラ 1（破線）を収納できる（図 1）。又、上切欠部 16 b によって、シャッター 5 用のシャッター窓 21 が形成される。蓋部 17 にマジックファスナ 20 a を取り付けると共に、そのファスナーに対応する位置にもファスナー 20 b を取り付けてあり、カメラを装着した後、その蓋部 17 を閉じることによって収納可能になる。尚、このマジックファスナ 20 a のほかに、ホックやフック等の装着具を使用してもよい。又、ケース 10 には、長さ調整可能な吊紐 25 が付設してあり、首に掛けることを可能にする。

【0010】 次に、前記ケース 10 の使い方について説明する。なお、前記した様に、このケースは多種の使い捨てカメラに適用可能に形成してある。そして、未使用時には、カメラをケース 10 に装着し、蓋 17 を閉め、吊紐 25 を介して首に掛けるか、手に持つ。この状態において、カメラを使用するときには、蓋 17 を開けることによって、容易に被写体に向けることができる。即ち、従来、カメラを籠等に入れたりしていることに較べると、迅速に被写体に向けることができるし、首に掛けているので邪魔にならない。

【0011】 この様に、本発明のケース 10 を使用することによって、迅速に被写体に向けることができると共に、持ち運びが容易になる。又、このケース 10 は複数種の使い捨てカメラに対応させてあるので、撮り終えたカメラに替えて、他のカメラを購入しても、対応できるので経済性に富む。

【0012】

【発明の効果】 請求項 1 のカメラのケースはレンズ等に対応する位置に大きめの孔等を穿設し、且つ、吊り紐を

(3)

特開2000-194062

付設することによって、多種類のカメラに対応することができると共に、持ち運びが容易になる。又、請求項2のカメラのケースは、1枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することによって、簡単に形成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】カメラとケースの全体図である。

【図2】ケースの正面図である。

【図3】ケースの背面図である。

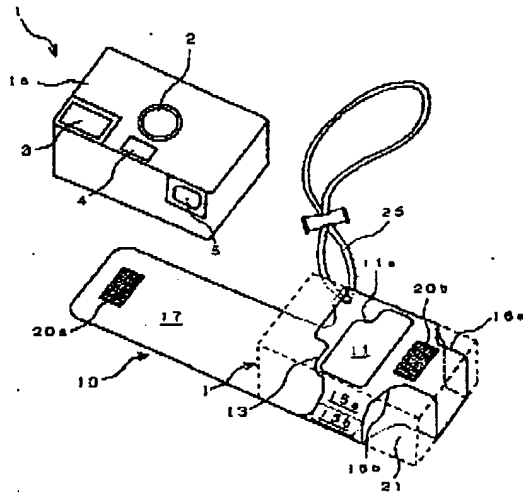
【図4】ケースの平面図である。

【図5】ケースの裏面図である。

【図6】ケースの右側面図である。

【図7】ケースの左側面図である。

【図1】



【図3】



【図6】



【図7】



*【図8】ケースを作成する前の展開図である。

【符号の説明】

1 カメラ

2 レンズ

3 フラッシュ

5 シャッター

10 ケース

11 レンズ孔

13 切欠き部

10 16b 上切欠部

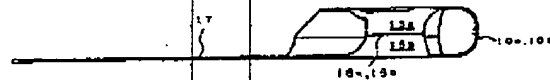
16a 下切欠部

17 蓋

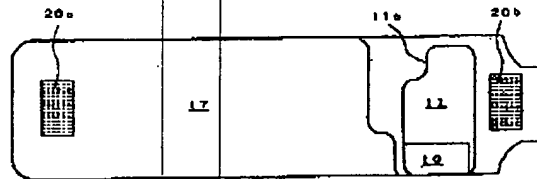
19 ファインダー窓

*

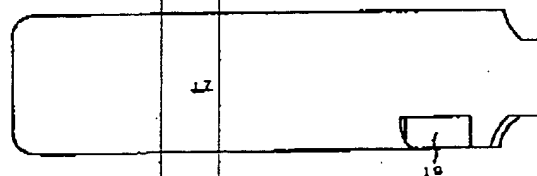
【図2】



【図4】



【図5】



【図8】

